



中村工業株式会社

〒551-0031 大阪府大阪市大正区泉尾6-5-40  
 TEL: 06-6551-3390 FAX: 06-6551-3396  
 HP <https://rope.co.jp> Eメール [i@rope.jp](mailto:i@rope.jp)

中村工業株式会社  
 公式ホームページ  
 ROPE.CO.JP



中村工業株式会社  
 オンラインショップ  
 ROPE.JP



# Crosby

世界 NO.1 ブランド 吊り具はクロスビー

<https://rope.co.jp>



vol.5  
 中村工業株式会社

株式会社キトー 代表取締役社長 / キトークロスビー 会長  
**鬼頭芳雄氏 ロングインタビュー**

中村工業株式会社 代表取締役社長  
**中村哲也 60周年インタビュー**

**KITO**



**Crosby**



# キトーの未来。 キトークロスビーの未来。

株式会社キトー 代表取締役社長  
キトークロスビー 会長

## 鬼頭芳雄氏 ロングインタビュー

【プロフィール】

1988年キトー入社。開発や国内営業の部門長を務めたのち、2006年から現職。フィリピンやタイなどの拠点の立ち上げに注力するなど、長きにわたりキトーの海外ビジネスをリードする。年間100日は海外を飛び回り、日本を離れることも多い。趣味はゴルフやスキーを楽しむこと。

■まずは、キトーとクロスビーの経営統合について教えてください。  
キトーはよりグローバルでの飛躍、発展のための手段として、米クロスビーグループとの経営統合を決断しました。統合によって製造、品質、人材、顧客サービスなどすべてにおいて、両社が単独で達成し得る水準を大きく上回る成果が期待できます。2022年5月、米投資ファンドのコールバーグ・クラビス・ロバーツ（KKR）傘下にある米クロスビーグループとの経営統合を目指すことを公表し、KKR側によるキトー株式へのTOB（株式公開買い付け）成立を経て、上場廃止し、2023年1月末に新生「キトークロスビー」として歩み始めました。キトーはこれまでも海外展開を進めてきましたが、重量物を取り扱うあらゆる産業に顧客基盤を構築し、製品ラインナップに強みを持つ一方、地域戦略においては、欧州での成功感を味わっているとは言えませんでした。そこで、欧州にも強い基盤を有する企業と合併することで、互いの補完関係を活かし、新たな事業構造を構築します。これは、本当の意味でのグローバル化を実現するための重要なステップとなります。社長就任以来、日本のキトーから世界のキトーへと改革を進めてきた私にとって、今回の決断は大きな意味を持つものです。

■経営統合に至った経緯と期待されるメリットは。  
キトーは、主にホイスト（巻き上げ機）とクレーン事業を手掛け、日本を含めたアジア市場や北米市場に強みがあります。クロスビーは、フックやシャックルなどリフティングハードウェアを製造し、北米や欧州で事業展開しています。両社の事業は、製品の品揃え、市場の両面において重複が極めて少ないことから、お互いに補完関係にあります。製品戦略と地域戦略の両面において、リスク分散

が効いた、バランスの良い事業ポートフォリオを構築し、これがキトークロスビーの発展を実現する盤石な基盤となります。製品面においては、これまでお客様はクレーンやホイストと、その下部に取り付ける吊り具を、それぞれのメーカーから購入して組み合わせる必要がありました。キトークロスビーとなったことで、それらの製品を一括で提供できるようになり、またソリューションの幅が広がることでお客様のニーズへの対応力も強化されます。お客様にとっては利便性が良くなり、販売代理店には、品揃えやサービスで、より多くの選択肢とビジネスチャンスを提供することができます。地域面においては前述のとおり、キトーの欧州地域へのさらなる拡大と、クロスビーのアジア地域への販売強化が期待され、真の意味でのグローバル化が実現できると確信しています。



■新生キトークロスビーの事業規模について。

キトーとクロスビーの事業規模はほぼ同等なので、統合によって単純に倍増したことになります。世界的には業界2番手に位置すると考えますが、競合他社の扱う製品群はそれぞれ異なるため、単純な事業規模だけで比較することは難しいです。具体的な数字は外部には発表していませんが、旺盛な需要にけん引されて業績は順調に伸びています。足元のマーケットは、国内の設備投資や建設・土木は堅調で、海外も北米を中心に好調な状況が続いています。

■キトークロスビーとなって、どんな会社になりたいですか。

経営統合のプロセスでは、短期的な合理化や人員削減を進めて目先の利益を確保することは想定していません。重要なのは、キトーとクロスビーの従業員全員が、自部門の中核事業にフォーカスして、事業目標の達成を目指すことです。並行して、お互いのビジネスと市場、製品、顧客について、急ピッチで吸収して、シナジー創出については優先順位をつけて取り組んでいます。共通のビジョンとして、『安全作業を実現するための必要不可欠なパートナーでありたい』と考えています。この信頼のブランドは製品だけでなく、従業員一人一人にも根付いているものです。トップブランド同士が統合したことで相乗効果を生み出し、これまでのキトーブランドの信頼性を色濃く反映させながら、新たな一歩を踏み出しています。

■2つの会社の文化的な融合について。

経営統合をして1年が経過しました。経営統合を発表した当初は米国の企業になるのではないかと、働き方が変わるのではないかなど、従業員から不安な声も聞かれましたが、1年かけて緩やかに一体感が生まれてきています。経営管理の面では、意思決定の速さやアイデア・発想の縦横の共有といったアメリカ的な良さと、企業理念や哲学的な文化といった日本的な良さを兼ね備えた企業を目指します。

■キトーの製品ラインナップについて。

当社の製品は、7割がコンポーネント製品で、残りの3割は、お客様のニーズに合わせたオーダーメイド製品です。オーダーメイド製品の一例として、精密機器製造向けにクリーンルーム仕様、食品向けに防錆処理を施した製品、コンサート会場や競技場で大型ビジョンや音響機器の設置に使われるシアターホイスト、ジェットエンジンの搬送に使われるシステムクレーンなど、作業環境や用途に応じた最適なソリューションを提案します。特定の業界に依存しないことが安定した収益を生んでいると言えます。

■現在のシェアについてはいかがでしょうか。

マテリアルハンドリング業界における国内のホイストのシェアは50%を超えています。高品質で耐久性の高い私たちの製品は、同業他社と比較するとやや高い価格帯ですが、「いいものを長く使う」というコンセプトに基づいています。初期投資額は割高に感じても、正しく丁寧にメンテナンスしながら、長期間にわたってご使用いただくことで、結果的に環境負荷の低減にもつながり、現代の価値観に合った持続可能な社会を促進することに貢献できると考えます。

■マテリアルハンドリング業界の展望はいかがでしょう。

マテリアルハンドリング業界は、品質重視のプレミアム製品と安価な製品の二極化が進んでいくと思います。作業現場の人手不足も深刻な社会問題と認識しており、自動化や省人化のニーズがますます高まっています。作業の習熟度や年齢、性別を問わず、誰でも使いやすく安全な製品開発が求められ、ID管理、モニタリング、メンテナンス記録など、デジタル技術の採用も積極的に進めています。





**チェーン製品がメインだと思うのですが、キトーにとってのワイヤロープの存在について。**

ワイヤロープは、私たちのビジネスにおいて重要な存在です。主に大容量のクレーンに使用されることが多く、高い信頼性と耐久性が求められます。長らくチェーンブロックに焦点を当ててきましたが、8年ほど前にキトー独自に設計・開発したワイヤロープホイストを発売しました。当然クロスビーとの統合により、ワイヤロープ製品の品揃えも拡大し、ワイヤロープに関連するお客様との協力をさらに強化できる環境が整いました。キトークロスビーとして、チェーンとワイヤロープ両方におけるトップブランドの地位を確立すべく、一丸となって邁進していきます。

**日本のワイヤロープ業界や、周辺の業界の方々との関わり方の変化は出てきますか。**

中村工業さんとのお付き合いが始まったのもその一つです。私たちは主にはクレーン・ホイスト事業に注力してきましたが、吊り具の領域においては、まだ成長の余地があると考えています。なので、ワイヤロープ業界のみなさんとの関係性がより強固なものになることを期待しています。

**SDGsやESGなど 取り組まれていることはありますか。**

キトーは、あらゆる地域、あらゆる産業の現場において、重量物を安全に持ち上げ、固定するニーズに応えることで、重力に制限されない新たな価値の創造を可能にしました。環境に配慮したクリーンなものづくりや、社会貢献活動なども積極的に取り組んでいます。なかでも雇用機会の提供が地域社会への貢献であると考え、障がい者雇用に力を入れています。「障がい者と共にごく自然に働ける企業風土をつくり、さまざまな個性をもった方たちが働ける職場環境を構築する」という基本方針のもと、バリアフリーの整備、支援機器の導入など、働きやすい環境を整え、職場定着に取り組んでいます。障がい者雇用率は7.99%（2024年1月時点）と、法定雇用率の2.3%を大きく上回ります。最近では、Bridges to Prosperityというアフリカに橋を建設するプロジェクトに参加し、キトークロスビーから10名のメンバーがルワンダへ出向きました。雨季の増水により、医療機関や学校、市場などへのアクセスが困難になっていた地域住民のために橋を建設しました。建設工事では、キトークロスビーの製品も活躍しました。



**将来のビジョンについてお聞かせください。**

社会の変化に柔軟に対応し、多様化するニーズをしっかりと捉え、いかなる時代においても、社会から必要とされる企業であり続けるため、キトークロスビーが一丸となり、相乗効果を発揮して、さらなる成長に向けて邁進していきます。



**株式会社キトー**

**本社工場**  
〒409-3853  
山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000

**東京本社**  
〒163-0809  
東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号  
新宿 NS ビル 9 階

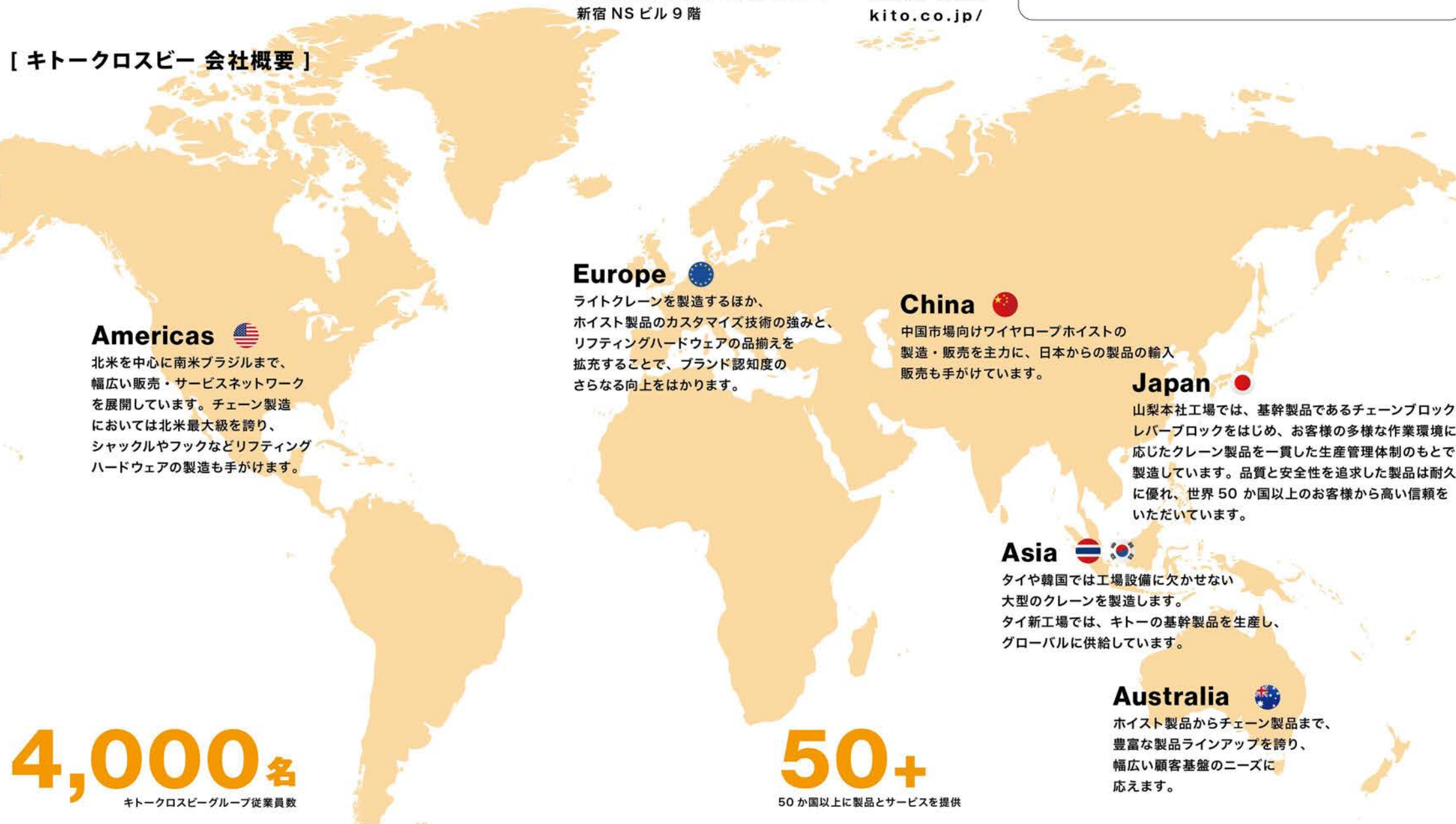


kito.co.jp/

**【キトー 沿革】**

- 1932年: 東京・大森に「鬼頭製作所」を創業。
- 1945年: 本社工場を川崎の中野島工場に移転。
- 1947年: 万能けん引機「レバブロック」を開発。
- 1959年: 手動チェーンブロック「キトーマイティ」を開発。
- 1970年: 社名を「株式会社キトー」に改称。
- 1980年: 世界最強のチェーンを搭載した「チェーンスリング100」を開発。
- 1983年: 本社工場を川崎から山梨県・昭和町に移転。
- 1990年: 初の海外子会社「Harrington Hoists」(米国)を設立。
- 2003年: 「キトーレバブロックLX形」を開発。グッドデザイン金賞受賞。
- 2016年: キトー設計・開発「ロープホイストRY形」を発売。
- 2017年: 障害者雇用職場改善好事例の最優秀賞(厚生労働大臣賞)を受賞。
- 2023年: Crosby Group (米国)と経営統合。

**【キトークロスビー 会社概要】**



**Americas** 🇺🇸

北米を中心に南米ブラジルまで、幅広い販売・サービスネットワークを展開しています。チェーン製造においては北米最大級を誇り、シャックルやフックなどリフティングハードウェアの製造も手がけます。

**Europe** 🇪🇺

ライトクレーンを製造するほか、ホイスト製品のカスタマイズ技術の強みと、リフティングハードウェアの品揃えを拡充することで、ブランド認知度のさらなる向上をはかります。

**China** 🇨🇳

中国市場向けワイヤロープホイストの製造・販売を主力に、日本からの製品の輸入販売も手がけています。

**Japan** 🇯🇵

山梨本社工場では、基幹製品であるチェーンブロックやレバブロックをはじめ、お客様の多様な作業環境に応じたクレーン製品を一貫した生産管理体制のもとで製造しています。品質と安全性を追求した製品は耐久性に優れ、世界 50 か国以上のお客様から高い信頼をいただいています。

**Asia** 🇹🇼 🇰🇷

タイや韓国では工場設備に欠かせない大型のクレーンを製造します。タイ新工場では、キトーの基幹製品を生産し、グローバルに供給しています。

**Australia** 🇦🇺

ホイスト製品からチェーン製品まで、豊富な製品ラインアップを誇り、幅広い顧客基盤のニーズに応えます。

**4,000名**  
キトークロスビーグループ従業員数

**50+**  
50 か国以上に製品とサービスを提供



# キトーの主な製品ラインナップ

## 電動製品



## 特殊製品



## 手動製品



## クレーン



## つり具

### チェーンスリング



### 繊維スリング



### リフティングポイント



### スーパーマグ





# 同等品は 存在しません

クロスビーグループを選ぶということは、品質を選ぶということです。玉掛けや吊り具、固定金具のメーカーで、これほど信頼できる製品の解決策や研修技術サービスを使用現場に近いところで提供している会社は他にありません。もし他社の契約書に「クロスビーまたは同等品」と書かれている場合は、覚えておいて下さい... 同等品は存在しません。

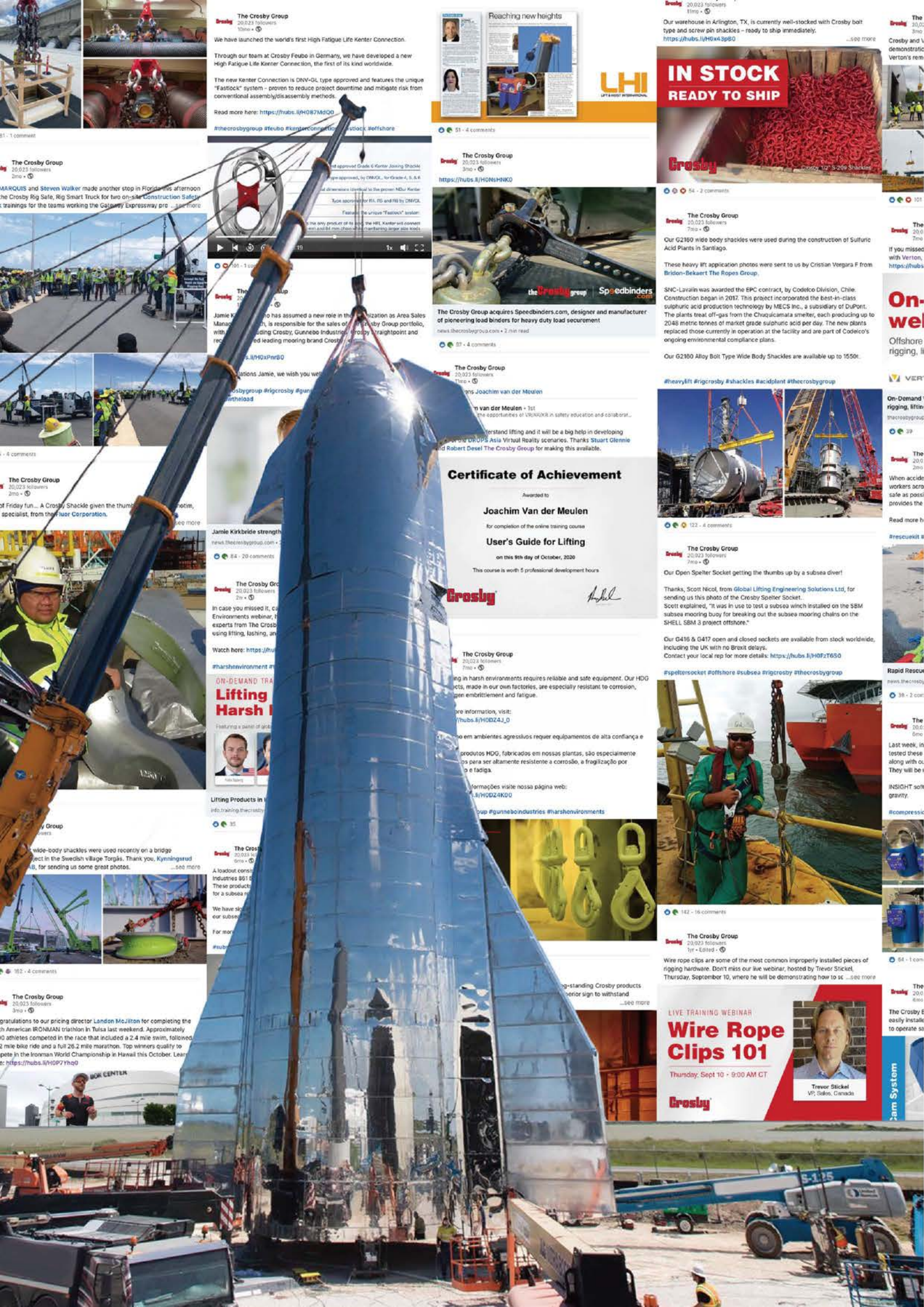
## クロスビーグループの特長

- 卓越したエンジニアリングと製造技術
- 比類のない品質と信頼性
- 世界水準の研修プログラム
- 優れたサービスと技術サポート
- リスク管理ツールと資源
- 業界で最も幅広い製品ラインナップ
- グローバルな販売ネットワークと現地サポート






# Crosby







# クロスビーの主な製品ラインナップ

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|    |    |    |    |    |
| G-2160<br>ワイドボディ  | G-209<br>スクリューピンバウタイプ   | G-210<br>スクリューピンストレート   | G-2130<br>ボルトナットバウタイプ   | G-2150<br>ボルトナットストレート   |
|    |    |    |    |    |
| S-209T<br>ステージ用   | S-252<br>スリング用  | L-320A<br>アイフック   | L-322AN<br>スイベルフック  | S-315A<br>チェーンフック   |
|   |   |   |   |   |
| S-1316<br>ロックリングフック   | S-1326<br>スイベル式ロックリングフック  | S-1316AH<br>ハンドルフック   | S-13326AH<br>ハンドルスイベルフック  | A-1338<br>グラブフック  |
|  |  |  |  |  |
| A-342<br>マスターリング  | G-341<br>ナス型リング   | G-416<br>オープンソケット   | G-417<br>クローズソケット   | S-377<br>バレルフック   |
|  |  |  |  |  |
| G-402<br>両型スイベル   | A-1337<br>カップリング  | G-335<br>コネクティングリング   | SL-150<br>スライドロック   | W-416-7<br>ワイヤロック   |

**安全・高性能・吊り具はクロスビー!**

[お問い合わせ] メール: [i@rope.jp](mailto:i@rope.jp) または下記フリーダイヤル62(ロープ)までお気軽にご相談ください。

**0120-000062**



# 風力発電 の吊り上げは 中村工業へ！

モジュリフト  
使用実例  
ウェブサイト



再生可能エネルギーの増加により、風力タービン、タワー、モノパイルを吊り上げるためのモジュリフトのモジュラー式吊り天秤の需要が高まっています。風力、太陽光波力、水力、地熱などの分野で使用される場合でも、モジュリフトの吊り天秤は重量物の運搬に対応できるように設計されており、世界中で短納期で納品が可能です。モジュリフトは、長いブレード用に特別に設計された格子梁を使用して再生エネルギー装置を持ち上げるためのリフティングソリューションをカスタム設計することができます。モジュリフト製品にクロスビーの製品を組み合わせることで様々な吊り上げに対応可能です。風力発電の吊り上げ製品は、中村工業にお問い合わせください。

## Modulift

世界初のモジュラー式吊り天秤 **MAX5000トン**

## Crosby

ワイドボディシャックル **MAX1550トン**



【お問い合わせ】メール: [i@rope.jp](mailto:i@rope.jp) または下記フリーダイヤル62(ロープ)までお気軽にご相談ください。

 **0120-000062**







カタログはこちら

# Moduliift

## 世界初のモジュラー式吊り天秤

パーツを組み替えて長さを調整可能。運搬が容易で、100トンまで即納

MAX5000トン



- 即納** ~100トン
- 省スペース** 運搬も容易
- 軽量** 分解&組み合わせ
- 認証** DNV 証明書
- リース** 販売&リース

# ONE



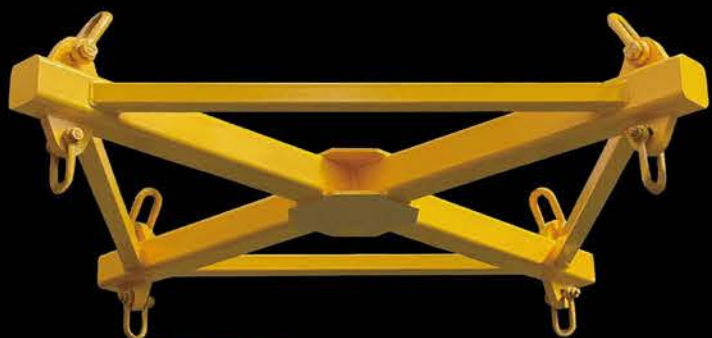
カタログはこちら

## 新スタンダード吊り天秤「ONE」

◎シンプル設計 ◎天秤下吊り角度60度以内 ◎リース対応 ◎オーダーメイド対応



ONE プレートタイプ

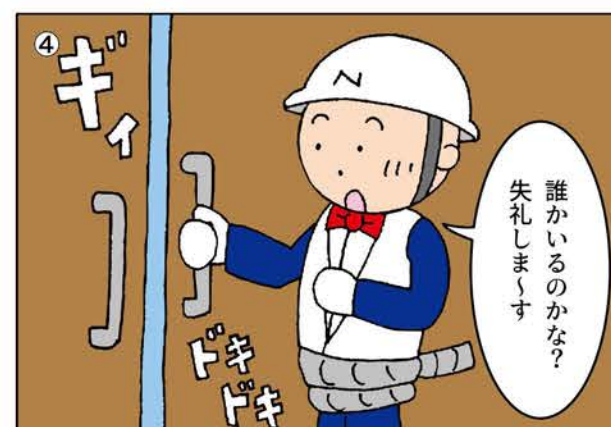


ONE-S スクエアタイプ

## 8コマまんが まいど!ロープくん



祝・60周年





# カラータグ

カラータグで「玉掛け」をスマートに!  
ワイヤロープスリングは中村工業へ!

◎タグは5色から選べます (赤・青・黄・緑・白)

◎スマホでロープの情報を確認できます

無料

◎カラータグは無料!

◎社名やロゴ入りなどのカスタマイズも可能

中村工業では、ご要望に応じてワイヤロープの加工日やロープの構成吊り具  
なら吊り角度など必要な  
情報がひと目でわかる  
カラータグを無料でお付  
けいたします。ご注文の際  
にはぜひ「カラータグ付き」  
とお申し付けください。



まずは下のQRコード  
からお試しください!  
<http://rope.co.jp/p/>



# 世界最大級

# 6000トン

# プレス

# 太径

# ロープ

# 加工

中村工業株式会社

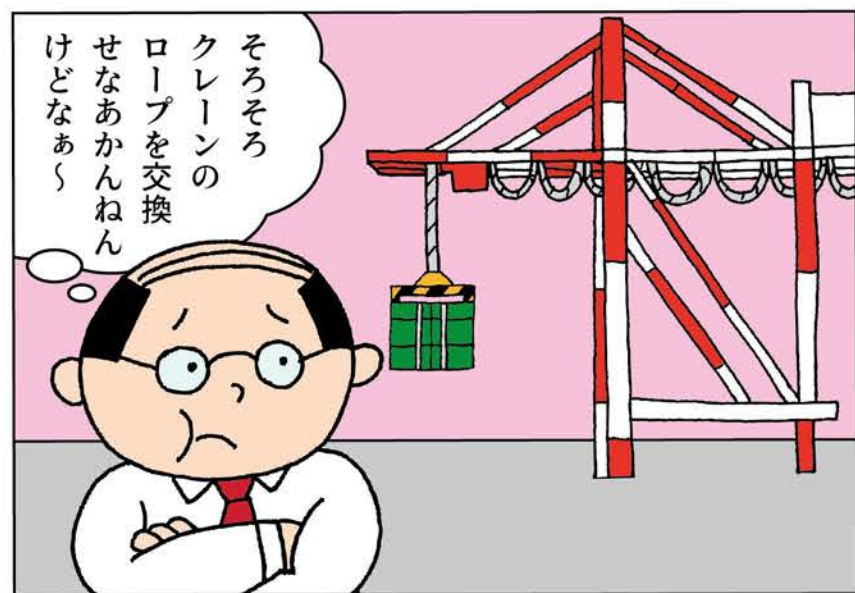




ロープ交換+ワイヤロープ+玉掛け+吊り具+ウエイト+点検



# クレーンのロープ交換は 中村工業へお任せください!



中村工業では、ロープ交換からワイヤロープ、玉掛け、吊り具、ウエイト、点検まで、経験豊富な資格を持ったスタッフが、日本全国365日、迅速に対応いたします!



ロープ交換のWEB実績ページをご覧ください!

【お問い合わせ】メール: i@rope.jp または下記フリーダイヤル 62(ロープ)までお気軽にご相談ください。日本全国 迅速対応!

# 0120-000062







1957 大正区の原創業に就職



1964 大阪市大正区千鳥で中村工業を創立



2002 中村和郎が全国ロープ加工組合連合会の会長に就任



2005



1967 大阪市大正区平尾に移転、中村工業に称号を変更



1985



2016 「クロスビー」と日本代理店契約を締結



2010



1988 法人「中村工業株式会社」に改組



2014 50周年記念旅行 南紀白浜



2000



1997



2019 「モジュールフト」と日本総代理店契約を締結

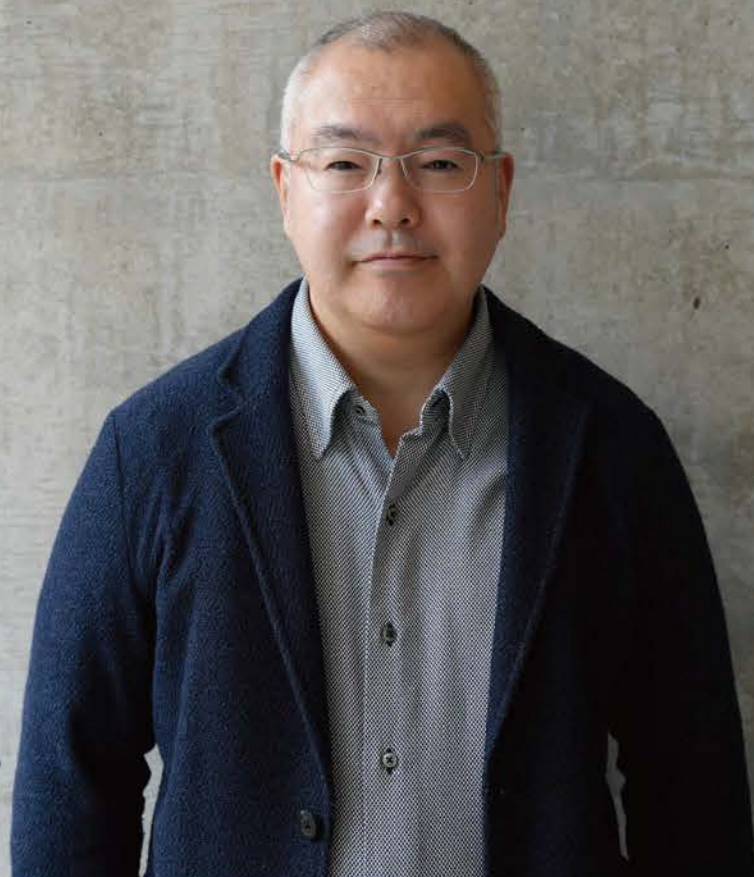


2024 「キトー」と代理店契約を締結

60th  
おかげさまで60周年







# 中村工業 60周年を迎えて

中村工業株式会社 代表取締役社長

## 中村哲也 インタビュー

### 創業60周年おめでとうございます！

#### 中村工業の歴史を簡単に教えてください。

1964年に私の父、中村和郎が大正区で創業したのが中村工業の始まりです。当時は日本経済も高度成長期でロープ加工の仕事がたくさんあり、毎日のように残業し、日曜日も仕事をするくらい忙しい日々であったと聞いています。手加工が中心だった時代にプレス機をいち早く導入し、機械化による大量生産を可能にしました。父の時代はワイヤロープの販売と端末加工が中心でした。2009年に私が39歳で社長を引き継ぎ、神戸工場の竣工、クロスビーやモジュリフトとの日本代理店契約締結、同業他社の事業継承など、重量物を吊り上げる製品を総合的に扱う会社に成長しました。

#### 中村工業の強みは何だと思いますか？

長年培ってきたワイヤロープ加工が一番の強みですが、

現在ではクロスビーの吊り具やモジュリフトの吊り天秤、クレーンロープ交換工事など、点と点が線でつながることで中村工業ならではの大きなアドバンテージになってきていると感じています。

#### これまでに取り組んだプロジェクトについて教えてください。

これまでに様々な製品を提案し、開発してきました。一番ヒットしたものは東京製綱在籍時に提案して商品化された高強度玉掛け用ワイヤロープ「ハイクロスロープ」です。この他に「テーパーヨロック」も商品化しました。中村工業ではクッションカバー「くるっと」、全周型ロープグリス噴霧ノズル「シュワット」、製品タグ「カラータグ」など、より安全で便利な製品を開発し販売してきました。これからも現場に役立つ製品の開発に取り組んでまいります。

#### 中村社長が取り組んでいる課題は何ですか？

社員のやる気を引き出し、全員が一丸となって仕事に取り組み、困っている人がいたら助けてあげられるような会社を目指しています。人と現場に投資し、他社との差別化、ブランド化を進めてまいります。

#### 新しい技術やイノベーションをどのように

##### 取り入れていますか？

新製品や新技術で何か取り入れられるものはないかと常に考えています。これからの時代は人の手で仕事するよりも機械に仕事をさせることを優先して考えていかなければいけません。世界最大となる6000トンプレス機やワイヤロープ自動検尺機、エンドカラー押出機など、最新の機械を導入し高効率な工場を目指しています。今後はAIも積極的に取り入れて業務に活かしていきたいと考えています。AIにより、これまでに無い画期的なデザインのワイヤロープや吊り具が生み出されるでしょう。

#### 中村社長にとって最も

##### 重要な価値観は何ですか？

人から信頼される人間になることです。謙虚でありながら、向上心を忘れず、皆様のお役に立てるよう日々成長したいと考えております。

#### 持続可能な開発目標(SDGs)に対する中村工業の取り組みを教えてください。

弊社では、SDGsに積極的に取り組んでおり、ワイヤロープ、吊り具、チェーンなどの鉄製品を廃棄時に鉄スクラップとして再利用することで資源の有効活用と環境保全に努め「SDGs12つくる責任、つかう責任」の達成に貢献しています。また、会社周辺の清掃活動にも積極的に取り組み、地域の環境向上に貢献しております。

#### 地域に貢献していることはありますか？

先代が掲げていた言葉に「必要とされる社員、必要とされる会社」があります。仕事だけではなくボランティア活動などによる社会貢献も大切だと考えています。地元である大正区が開催するオープンファクトリー、ものづくりフェスタ、インターンシップなどにも積極的に参加しています。私個人では、毎週日曜日の朝にビーチクリーニングのボランティアを行っています。

#### ボランティア活動の取り組みを教えてください。

「芦屋ビーチクラブ」というボランティア団体を設立し、代表を務めています。約10年前に一人で始めたビーチクリーンですが、現在ではたくさんの方が集まり、日曜日の朝8時から9時までの1時間、ビーチのごみ拾いを行っています。また、芦屋ビーチクラブでは年に一度、約150名の親子が参加する「潮芦屋プレイフルサンドアート」という砂遊びのイベントも開催しています。未来の子供達に綺麗な海を、綺麗な地球を残したいという気持ちで活動を続けています。

#### 最後にメッセージをお願いします。

いつも中村工業をご愛顧くださり、ありがとうございます。おかげさまで60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



60周年を迎えるにあたり、これまで使用してきた「Nマーク」をリデザインしました。新しいロゴはモダンで洗練されたデザインにより視認性を向上させると共に原点を超えて挑戦し続ける企業姿勢を表現しています。

